

6.



M-0427

0208

秘

豊二環光
ノ家分ニ

電信寫

Handwritten notes and stamps on the right margin.

Main body of the telex message, containing several lines of vertical Japanese text.

511

M-0427

0209

公務案

外務省

本信送付是 日始者發保方長 朝鮮總督
 府警務局長

別紙 本ハハルニ未信機密ハ一五三ノ所為書等也
 添附ナシ

(日本標準規格 B5)

14252/21

發信用執務用			
主信	2	4	6
附			
屬			
備考			

文書課長

文書課發送日 昭和拾四年六月廿六日發送

管主 栗利加員長 (台譯)

米三機密令第三二四四號 昭和昭和拾四年六月廿六日附 附屬

任主 朝鮮總督府警務局長

淨書 (原稿) 和十一年七月 月 日 起草

別紙

先付送寫 名人信受

名人信發

名件錄記

名件 滿洲國林錫胤總領事(朝鮮人) 寄港ニ關スル件

本件：關シ別紙寫ノ通在「ハルニ」水澤總領事ヨリ
 勅令アリタルハ本件考途茲ニ送付ス

安藤 田村者發保方長

三橋 朝鮮總督府警務局長

去邊 栗利加員長

(日本標準規格 B5)

26 65

M-0427

02 10

專使ニ深望及ノル

機密第一五三號

昭和十四年五月二十四日

在ホノルル
總領事 水澤孝策

外務大臣 有田八郎 殿

滿洲國朴錫胤總領事（朝鮮人）寄港ニ關スル件

今般新任滿洲國ワルソ駐在總領事朴錫胤ハ赴任ノ途次本月十九日龍田丸ニテ當地ヘ寄港當館ヲ來訪シ豫テ舊知ノ關係ニアル朝鮮人神父趙光元ト會談ヲ試ミ度トテ同人トノ連絡ニ關シ斡旋方申出アリタルヲ以テ當館油下書記生ノ案内ニテ會談ノ機會ヲ捕ヘタルカ朴總領事ハ同人トノ會談ニ於テ今次事變下ニ於ケル朝鮮内地及滿支方面居留一般朝鮮同胞ノ實狀ニ付説明シ深キ感銘ヲ與ヘタル處元來當地在留鮮人ノ大部分ハ永ク自由主義國ノ溫床下ニアリテ相當頑迷ナル民

(日本標準規格B5)

外務省

族意識ヲ培ヒ居リ未タ祖國復光ノ迷夢ヲ持續シツツアリ又ハ帝國治下ニアルヲ心好シトセサルモノ多ク母國ノ實狀ニハ強テ耳ヲ掩ハントスル現況ナルニ鑑ミ斯ル有力ナル同胞ノ口ヨリスル是等時局談ハ強キ印象ヲ與ヘタル趣ナリ右會談ノ模様ニ付油下書記生ヨリ報告ノ次第アリタルヲ以テ何等御參考迄別紙ノ通り報告ス

尙趙神父ハ鮮内ニ於テ神學校ヲ卒業シ約十八年前ニ渡布現在當地ニ於テ聖公會派ニ屬スル聖ルカ教會ヲ主管シ居ル親日的朝鮮人ニシテ從來時折當館ニモ出入シ在留朝鮮人ノ鮮内ニ於ケル財產關係又ハ身分關係事項ノ處理等ニ關スル斡旋等ヲナシツツアリタルモノナルカ現在當地一部鮮人等ヨリハ右等ノ行動ニ付一種警戒ノ目ヲ向ケラレ居ル模様ニシテ右ニ對シ本人ハ常ニ純宗教家トシテ立場ヲ堅持シ其ノ範圍ヲ超エタル政治運動等ニハ一切交渉ヲ持タサルコトヲ標榜シ居ル趣ニテ同人ハ思想^後健全又眞面目ナル宗教家トシテ鮮人社會ニモ重キヲナシ居ル模様ナリ

(日本標準規格B5)

外務省

M-0427

0211

本信寫送付先 在米大使 在桑港總領事 在羅府領事

外務省

(日本標準規格B5)

朴總領事趙神父會談要旨

趙神父ハ朴氏突然ノ寄港及同氏カ今回總領事トシテ特ニ半島同胞トシテ新國家ノ要職ヲ帶ヒ外國ニ赴任スルコトトナリタル事實ニ對シテハ相當感動ヲ受ケタルモノノ如ク先ツ相互ニ久潤ヲ謝シ思出話等アリタル後朴總領事ハ最近特ニ滿支兩事變後ニ於ケル鮮内及在滿支一般朝鮮同胞等ノ著シキ思想ノ變化及新東亞建設ノ事業ニ對スル其ノ認識及覺醒ノ狀況ヲ述ヘ又滿洲建國ノ事業ニ付テハ今ヤ着々ト健實ナル發達ヲ遂ケツツアリテ五族各其處ヲ得テ眞ニ共和ノ實ヲ揚ケ居ル模様ヲ語り尙中南支對策ニ關シテハ日本ハ支那ヲ白人種ニヨル半植民地化セル現状ヨリ脱却セシメ完全ナル獨立國ヲ建設セシムヘキ大理想ノ下ニ聖戰ヲ進メツツアルモノナルコトヲ説明シタル後現在自分ハ滿洲國政府ニ於テ主要ナル地位ヲ與ヘラレ居ルモノニシテ今回ワルソ一初代總領事ニ被命赴任スルニ至リタル次第ナルカ在新京波國總領事ノ談ニヨレハ波政府ニ於テハ同官入國ニ對シ國境迄特

外務省

(日本標準規格B5)

M-0427

0212

別列車ヲ差向クルコトトナルヘシトノコトニテ尙今般同官京城出發ニ當リテハ從來ノ主義主張ノ如何ヲ問ハス凡ユル階級ノ同胞ヨリ無條件ニテ熱~~熱~~ナル歡送ヲ受ケタル旨語り多大ノ感激ヲ與ヘタリ次テ朴ハワルソ~~ソ~~總領事館開設ノ事情ニ付現在滿洲國ニハ相當數ノ波國在留民アリ從テ之ニ屬スル利權モアル次第ナルカ波國ニハ滿洲國在留民ハナク滿波國交ノ緊密化ハ寧ロ一方的ニ波國ニ裨益スル處遙カニ大ナルモノアル譯ニシテ現在英米佛等歐米諸國中滿洲國承認ニ認主義ヲ執リツツアル向モアル處是等諸國トテモ同様滿洲國承認ニヨリ受益スル所多キハ明カナルヲ以テ早晚此ノ現實ノ事實ハ認ムルノ止ムヲ得サルニ至ルヘク右ハ單ニ時間ノ問題ト思料セララル東亞ノ現狀實ニ右ノ如クニシテ最早同胞ハ區々タル小兒病的迷夢ヲ貧ル時ニアラス此ノ際覺醒シテ唯々一筋ニ現在ニ於ケル各自己ノ生活向上ニ~~算~~善ヲ計ルコソ吾等同胞トシテ新時代ニ處スル最良ノ途ナル所以ナリト縷々説明スル所アリタリ

外務省

(日本標準規格B5)

右ニ對シ趙神父ハ朴カ新國家ノ要職ニ就キ特ニ今回同國總領事トシテ重責ヲ負フテ外國ニ派遣セララルニ至リタル事實ニ對シテハ感銘的印象ヲ受ケタルモノノ如ク此ノ際吾等黃色人種ハ一丸トナリテ團結スルノ要アル旨述ヘ自分ハ現在教會關係ニ於テ米人ト共ニ此ノ教職ニ從事シ居ルモノナルカ彼等カ吾人ニ與フル言葉ハ「ユー・アイ・ル・ピテ~~ル~~」ニツクルノミサレト「アングロサクソン」民族大陸移住ノ歴史ハ如何彼等カ~~先~~住民族ニ對シテ同様此ノ「ピテ~~ル~~」「ピテ~~ル~~」ヲ繰返シツツ遂ニ現在ノ宗主權ヲ握リ居ル事實ヲ考フル時此ノ「ピテ~~ル~~」ノ意味ナキヲ感セシムルモノアリ彼等カ常ニ「カラー」ニ對スル差別感ヲ忘レサルモノアルハ不快トスル所ナリ尙當地在留同族等ノ狀況ニ關シテハ自分(趙)ノ現在ノ處世方針ハ唯純宗教家トシテノ立場ヲ堅持シ政治的關係ノ運動等トハ絕對ニ交涉ヲ持タサルコトヲ~~機~~モト~~ト~~「シ居ル關係上斯界ノ消息ニ付テハ詳細ナル事情等知ルニ由ナキモ察スルニ近時ニ於ケル政治運動(獨立

外務省

(日本標準規格B5)

M-0427

0213

運動ヲ意味スハ往年ノ如キ勢力ハナカルヘキモ未タ一般ニ對日反感ハ相當ナルモノアリ特ニ初代移住者ノ頑固ナル民族意識ニ引キスラレ少数ノ者ヲ除キテ何レモ過去ノ迷夢ヲ續ケ居ルモノ多キヤニ窺ハレ時ニ内心親日傾向ヲ藏スルモノアリテモ敢テ之ヲ表現シ得サル實情ニアリ

斯クノ如キ雰圍氣ノ中ニアリテ此ノ職ニ從事スル現在ニ於ケル自分ノ心境ハ實ニ苦シキモノアリ機會アラハ此ノ苦境ヲ脱シ歸國致シ度キ旨繰返シ述ヘタルカ朴ハ右ニ對シ其ノ苦衷ハ察シ得ラルルモ當地ニ本人如キ人物カ只一人ナリトモ存在スルコトハ其ノ事自身非常ニ意義アル事ナレハ此ノ際暫ク忍苦同胞將來ノタメ一臂ノ力ヲ添ヘラレ度旨諭ス所アリ趙モ自己現在ノ境遇ノ下ニ於テ許サレ得ル範圍ニテ同胞啓蒙ニ努ムヘキ旨述ヘ尙最後ニ從來内鮮地各官憲筋ノ歸國同胞ニ對スル扱振りノ緩和方ニ付訴フル處アリ現ニ本人モ數年前歸國ノ際何等危険思想等抱キ居ルモノニアラサルニ拘ラス横濱ニ於テ三

外務省

(日本標準規格 B5)

日間旅館ニ禁足セラレ面倒ナル取調ヲ受ケタルコトアリ勿論從來米地在留不良鮮人等ノ實狀仕來リニ照シ見ル時右ハ或程度無理カラヌコトトハ存セラルルモ爲ニ一部善意ノ同胞ノ心ニ暗映ヲ殘スコトハ甚タ遺憾ナル次第ニ付何等カノ方法ニヨリ之ニ手心ヲ加フルノ途ヲ講セラレンコト切望ニ絶エサル旨ノ希望ヲ述ヘタリ

外務省

(日本標準規格 B5)

M-0427

0214

機密

米三機密合第三二四四號

昭和十四年六月二十六日

外務省亞米利加局長 吉澤清次郎

三橋 朝鮮總督府警務局長
安藤 內務省警保局長

滿洲國朴錫胤總領事(朝鮮人)寄港ニ
關スル件

本件ニ關シ別紙寫ノ通在「ホノルル」水澤總領事ヨリ報告アリタ
ルニ付右御參考迄茲ニ送付ス

本信送付先 內務省警保局長、朝鮮總督府警務局長

別紙添附

外務省

(日本標準規格B5)

M-0427

0215